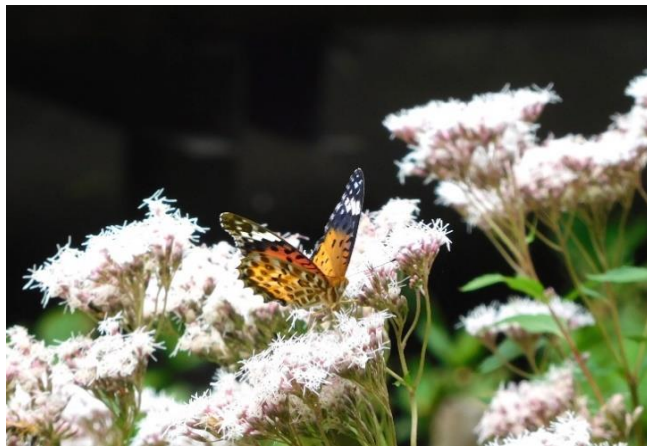
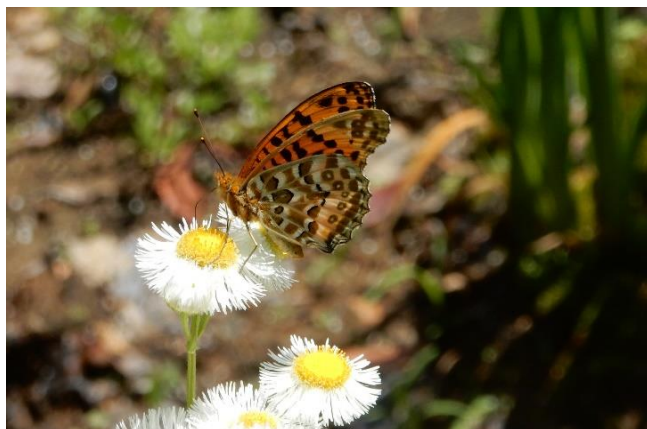


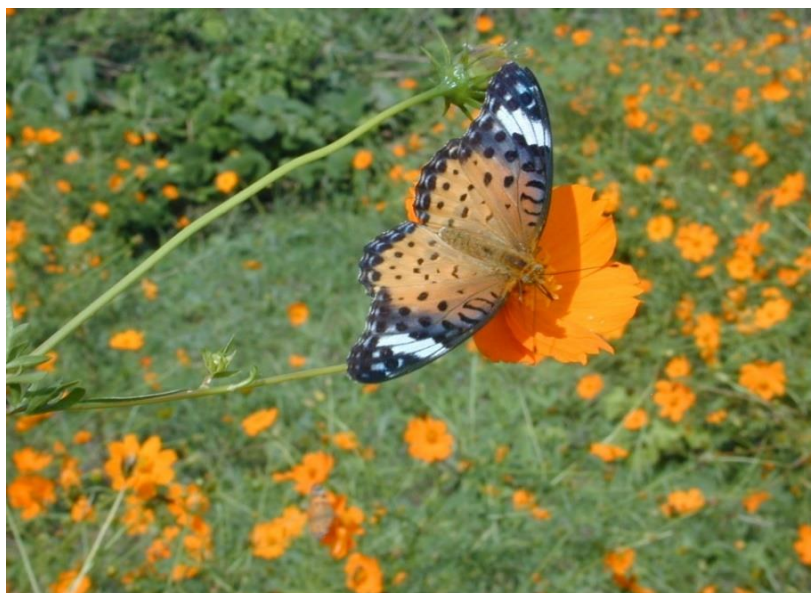
和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ツマグロヒョウモン	タテハチョウ科	羽の「ツマ」が黒いのが♀	○	○	○	本州以南 (北上中)



高根東森林公園 10月初旬♀ ヒヨドリバナで吸蜜



生田緑地 5月上旬♂ ヒメジョオンで吸蜜



多摩川土手 中野島 10月上旬♀ キバナコスモスで吸蜜



中野島 10月中旬♂ メスとまちがえた?



メスグロヒョウモン♀ 長野県南佐久
8月下旬

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草	食樹		発生回数/年			越冬形態					
スマレ類			4			幼虫					

名前の意味は羽の「ツマ」(先の方)が黒いヒョウモンチョウですが、これはメスのみでオスの羽の表は全体にヒョウ柄です。ハイムが建てられた頃(約30年前)には見かけませんでしたが20年前くらいから姿を見せ始め、今では個体数も多くなり、温暖化に伴う昆虫を含む生物の北上の一例です。周辺ではほかにも、ナガサキアゲハ、ムラサキツバメ、クロコノマチョウなどが同様な例としてあげられます。ツマグロヒョウモンの母蝶がバルコニー(5階)のプランターに生えていたタチツボスマレに産卵したらしく、幼虫を見つけて驚いたことがあります。紛らわしい名前で、メスだけが黒いメスグロヒョウモンというのがありますがこのあたりでは見られません。



メスグロヒョウモン ♀ 2019年8月12日 長野県入笠山 マツムシソウで吸蜜



メスグロヒョウモン ♀ 2020年8月24日 長野県入笠山 マツムシソウで吸蜜